

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産・・・定率法を採用している。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法  
リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外のファイナンスリース取引については、引き続き賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

## 2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	6,286,000	1,139,000	-	7,425,000
2020年「日数能」事業積立資産	0	15,350,000	-	15,350,000
特別寄付金引当資産	154,636	2,846,003	28,806	2,971,833
小 計	6,440,636	19,335,003	28,806	25,746,833

## 3 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する対応額)
特定資産				
退職給付引当資産	7,425,000	-	-	(7,425,000)
2020年「日数能」事業積立資産	15,350,000	-	(15,350,000)	-
特別寄付金引当資産	2,971,833	(2,971,833)	-	-
小 計	25,746,833	(2,971,833)	(15,350,000)	(7,425,000)

## 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
楽器等	418,117	418,109	8
建物	21,598,488	14,789,263	6,809,225
什器備品	6,844,369	6,792,827	51,542
合 計	28,860,974	22,000,199	6,860,775

## 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
夏休みこども能狂言体験教室補助金	神戸市	-	50,000	50,000	-	-
ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業	兵庫県	-	450,000	450,000	-	-
ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業	兵庫県	-	120,000	120,000	-	-
子ども伝統文化わくわく体験教室	兵庫県	-	1,080,000	1,080,000	-	-
後継者育成事業	愛知県	-	200,000	200,000	-	-
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	1,159,583	1,159,583	-	-
都民芸術フェスティバル	公益財団法人東京都歴史文化財団	-	3,703,000	3,703,000	-	-
東京芸術文化創造発信助成	公益財団法人東京都歴史文化財団	-	480,000	480,000	-	-
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	9,031,960	9,031,960	-	-
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	6,876,111	6,876,111	-	-
舞台芸術創造活動活性化事業	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	3,494,000	3,494,000	-	-
合 計		-	26,644,654	26,644,654	-	

## 6 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,286,000	1,139,000	0	0	7,425,000

## 7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	28,806
合 計	28,806